



平成26年2月27日

各 位

会 社 名 フォスター電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 幸雄
(コード6794、東証1部)
問 合 せ 先 I R ・ 法 務 部 長 山 本 有 三
(TEL : 042-546-2305)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年5月2日の「平成25年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成26年3月期連結業績予想数値の修正 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	159,000	8,000	8,000	4,800	205.75
今回修正予想 (B)	163,000	6,400	6,600	2,600	111.45
増減額 (B) - (A)	4,000	△1,600	△1,400	△2,200	
増減率 (%)	2.5	△20.0	△17.5	△45.8	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	143,542	5,515	5,316	3,333	142.91

(2) 修正の理由

通期連結業績におきまして、連結売上高は、期初に想定したよりも円安にて推移したことにより、当初予想を上回る見込みです。利益面につきましては、携帯電話向けヘッドセットの出荷、販売において、ハイエンド・スマートフォン向けの需要が当初の計画に対して低水準にて推移した事などから、連結営業利益、連結経常利益ともに当初予想を下回る見込みです。また連結当期純利益につきましては、これらに加えて下記記載の特別損失の計上により当初予想を下回る見込みです。

なお、業績予想の前提となる為替レートは、期初計画値1USドル95円、1ユーロ125円に変更はございません。また、期末配当予想(20円)に変更はございません。

2. 特別損失の計上について

携帯電話市場では、スマートフォンの占める比率が高まるなか、ハイエンドモデルの販売が鈍化する一方で、中国ブランドに代表されるローエンド、ミドルエンドのスマートフォンの普及が拡大しております。

当社グループでは、携帯電話の旺盛な需要に対応するためヘッドセットの生産体制を強化してまいりま

したが、上記のような事などからハイエンド・スマートフォン向けヘッドセットの需要に関しましては、当初見込みより今後鈍化していくものと考えております。

このようなことを踏まえ、当社グループでは、より強固な利益体制の構築に向け生産能力の見直しによる余剰資産（固定資産）の処分を決定し、特別損失として2,000百万円程度を計上することといたしました。

なお、当社グループでは今後も引き続き市場変化を捉えた営業活動による受注確保と、業務効率や生産性の向上及び資材費削減等の原価低減活動に取り組んでまいります。

[注] 業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報等に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績結果は、状況の変化など 様々な要因によって 上記 予想・見込みとは異なる場合がありますので、ご承知おきください。

以 上